

## 多摩ニュータウンの新たな再生方針検討委員会（第3回） 議事要旨

- 日 時：令和5年12月21日（木） 9時30分～11時00分
- 場 所：東京都庁第二本庁舎 31階22会議室
- 議 事：
  - 1 第2回委員会での主な意見と対応について
  - 2 多摩ニュータウンの新たな再生方針について
    - ・ 多摩ニュータウンの将来像（案）
    - ・ まちづくりの方向性と取組（案）
    - ・ 将来像の実現に向けて（案）
  - 3 今後の予定
  
- 検討委員会での主な意見

### 《方針2について》

- ・ 大学生、留学生、IT人材を増加させる方向性も必要である。
- ・ 学生や親世代だけではなく、子どもにも目を向けた取組内容があると良い。
- ・ 学びに関する基盤が充実しており、幅広い教育機会を享受できることや、スタートアップ企業と大学との連携等について、より積極的に取り組めると良い。
- ・ 大学の立地は、都心回帰が進んだり、郊外立地が進んだりと変化があることへの危機感を持ち、多摩ニュータウンに大学があることの魅力を感じられる仕掛けが必要である。

### 《方針3について》

- ・ 福祉サービスの送迎アクセスの課題は改善が進んでおり、「新たな再生方針」では記載を省く。

### 《方針4について》

- ・ MICEの基盤がまだ整っておらず、期待する。
- ・ 都市OSを多摩ニュータウン全域で検討できるとスケールメリットもあり良い。そのとき全体を取りまとめられるのは東京都であると思う。

### 《方針6について》

- ・ 既存のみどりの維持のためには適切な更新も必要である。
- ・ 農と住がセットになった住宅の提供等もあると良い。
- ・ 快適さの緑のみならず、生態系の保全等についても言及があると良い。
- ・ 多摩ニュータウン内での地産地消という仕組みがあっても良いと思う。

《実現に向けて》

- ・ 7つの方針にシームレスに取り組むことが必要である。
- ・ ハードとソフトの連携、都・地元市・関係団体の連携があり、エリア全体での取組となることが必要である。
- ・ ハードとソフトの連携等、推進には時間を要することも理解いただきたい。
- ・ 地元市で取り組む際の、都からの財政支援・技術支援等を望む。
- ・ 来年度の再生プログラムで、プロジェクトの具体内容を検討する。

《全体について》

- ・ 将来像の「都心のない緑豊か」の表現は、都心と比較している印象を与えるので「緑豊か」だけで良い。
- ・ 「働く・創造する」ということが、方針のタイトルからも感じ取れるよう書き込めると良い。